

「悪龍退治」の伝統行事

厄除開運

無病息災

しりあぶり

護摩修行



6月5日

見学無料

開始14時
受付13時

しりあぶりとは、岩殿山に伝わる「田村麻呂の悪竜退治」という伝説にまつわる、お尻を火であぶりながらお饅頭を食べる伝統行事です。

祈願料 二千元 (小学生 千円)

しりあぶり饅頭と護摩木
で厄除開運・無病息災を
祈願します。

祈願料 五千元

しりあぶり饅頭と護摩木、お名
前を書いた護摩札で厄除開運・
無病息災を祈願します。



▶しりあぶり饅頭

■しりあぶり饅頭の数に限りがございますので、予めお電話にてお申し込みください。

お申込み▶

TEL: 0493-34-4156

受付時間▶ 9:00~17:00まで

坂東札所第十番 正法寺
岩殿観音
埼玉県東松山市岩殿1229

むかし悪龍退治して 功立てたる将軍が—

高坂小学校校歌より

しりあぶりの物語

しりあぶりとは、岩殿山に伝わる「田村麻呂の悪竜退治」という伝説にまつわる、お尻を火であぶりながらお饅頭を食べる風習です。いまを遡ること1200年、岩殿山がまだ原初の姿を残していたころ、岩殿山に悪龍が住み着き、真夏に雪を降らせ田畑を荒らしては村人を苦しめていました。そこに、時の征夷大將軍である坂上田村麻呂将軍が蝦夷征伐の折に立ち寄りました。そして、岩殿観音の観音さまの力を借りて、見事悪龍を退治したのです。岩殿観音の僧侶と村人たちは、真夏の雪山での悪竜退治から戻った田村麻呂を、温かい焚き火とお饅頭でもてなしました。今に伝わるその風習が「しりあぶり」です。



行事の内容

悪龍退治の紙芝居

柴燈護摩

しりあぶり

奈良時代から続く古刹、岩殿観音正法寺



養老2年(718)、諸国を行脚していた逸海という一人の高僧が、岩殿山に観音菩薩像を安置し、そのかたわらに正法庵という庵を結んだことからここ岩殿観音正法寺は始まります。

開山期には、「田村麻呂の悪龍退治」に感銘を受けた桓武天皇の命で延暦15年(796)に伽藍が建立されたとも伝わります。

鎌倉時代には源頼朝の庇護を受け、室町時代には観音巡礼をする人々で大いに賑わうこととなります。戦国時代には戦火により一山が灰燼に帰すも、僧の栄俊により再興され、続く江戸時代には徳川家康より朱印地を賜るなど大いに栄えました。

本尊の千手観音は12年に一度開帳される秘仏であり、普段は前立ち本尊を拝することができます。

アクセス



【電車・バス】

東武東上線高坂駅下車 川越観光バス「鳩山ニュータウン行き」乗車 大東文化大学停留所で下車し徒歩3分。

【車(表参道から)】

県道212号線を鳩山方面へと向かい、こども動物自然公園(看板あり)を目指します。交差点「こども動物自然公園」を右折し、約700M先の交差点を左折すると表参道へと至ります。表参道に3ヶ所ある駐車場をご利用ください。

【車(裏参道から)】

交差点「こども動物自然公園」を直進し、大東文化大学を越えた先に岩殿観音の看板が見えます。看板脇の駐車場と少し先にある物見山駐車場をご利用ください。

坂東札所 第十番

正法寺

埼玉県 東松山市 大字岩殿 1229
TEL: 0493-34-4156 [9:00~17:00まで]

正法寺の詳細は
ホームページへ

